資料３

被保険者番号活用の仕組みの基本スキーム（案）

被保険者番号活用に向けた進捗と課題

現状

【医療等情報連結に向けた課題】

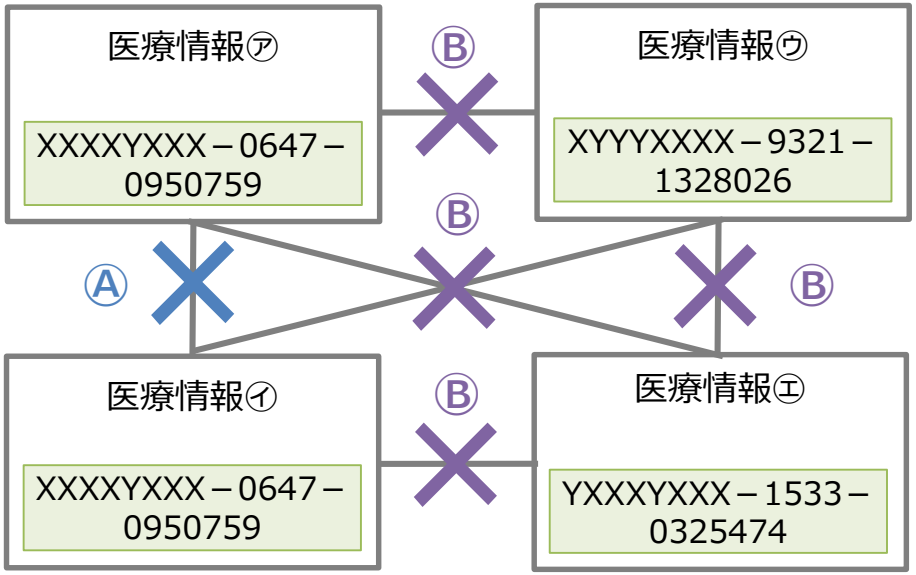
①被保険者番号が世帯単位であり、個人単位化されていない

②加入する保険者が変わった場合に被保険者番号が変わるが、その履歴を一元的に把握・確認できない

③データベースの運営主体等が、自らが保有する複数の被保険者番号について、同一人物の番号であるかどうかを把握できない

※　現状では、主に４情報（氏名、性別、生年月日、住所）で情報連結を行っているが、婚姻で姓が変更された場合、カナと漢字など表記方法が異なる場合などには情報連結できないという課題がある

※ 医療情報㋐～㋓が同一人物の医療情報である場合



Ⓐ個人単位ではないので連結できない

Ⓑ保険者が変わり、被保険者番号が変わっているので連結できない

健康保険法等改正法施行後

【医療等情報連結に向けた進捗と残された課題】

①被保険者番号が個人単位化される（あわせて、告知要求制限も導入）

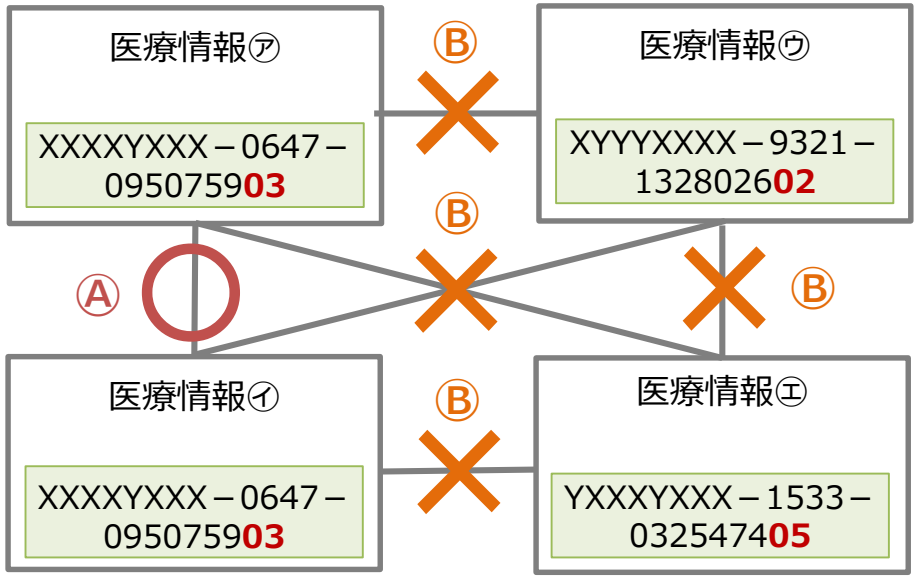
②オンライン資格確認システムの導入により、保険者をまたがって、個人単位の被保険者番号を一元的に把握・確認できる（支払基金・国保中央会）

③データベースの運営主体等が、自らが保有する複数の被保険者番号について、同一人物の番号であるかどうかを把握できない（残された課題）

⇒被保険者番号活用の仕組みの検討が必要

※　①・②は、公布日から２年以内に施行予定。

※ 医療情報㋐～㋓が同一人物の医療情報である場合



Ⓐ個人単位化されたので、連結可能

Ⓑ保有する複数の被保険者番号について、同一人物の番号であるかどうかを把握できないため、連結できない

※ 　　内は、被保険者番号（保険者番号－被保険者記号－被保険者番号）。個人単位化後は、個人識別のため、下２桁が追加される。

被保険者番号活用の仕組みに関わる閣議決定・報告書等の記載

◎「成長戦略フォローアップ」（令和元年６月21日閣議決定）

○オンライン資格確認等

・医療保険の被保険者番号を個人単位化するとともに、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認」の来年度からの本格運用に向けて、必要なシステム整備を着実に進める。新設される医療情報化支援基金を活用し、医療機関及び薬局のシステム整備を支援する。

・また、医療等分野における識別子（ID）については、オンライン資格確認システムを基盤として、個人単位化される被保険者番号を活用した医療等分野の情報の連結の仕組みの検討を進め、必要な法的手当を行い、令和３年度からの運用開始を目指す。

◎「医療・福祉サービス改革プラン」（2040年を展望した社会保障・働き方改革本部とりまとめ／令和元年５月29日）

▶2025年までの工程表

	取組事項	実施年度			
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～2025年度
1	ロボット、AI、ICT等の実用化推進、データヘルス改革				
iv	データヘルス改革に関し、2020年度までの事業の着実な実施と改革の更なる推進 データベースの効果的な利活用の推進 ○　被保険者番号を活用した医療等情報の連結の仕組み オンライン資格確認システムを基盤として、個人単位化される被保険者番号を活用した医療等情報の連結の仕組みの検討を進め、運用開始を目指す。	オンライン資格確認システムを基盤として、個人単位化される被保険者番号を活用した医療等情報の連結の仕組みを検討し、必要な法的手当を実施		運用開始	

◎医療等分野情報連携基盤検討会「医療等分野における識別子の仕組みについて」（平成30年８月）【要約】

・ 医療情報等の共有・収集・連結を行う者が、必要に応じて、被保険者番号履歴の管理・提供主体から、対象者の被保険者番号履歴の提供を受けられる仕組みの整備を目指すことが適当。

・ ①研究目的のデータベースの運営主体が収集した個人の医療情報等を個人単位で連結するための名寄せや、②地域の医療情報ネットワークに参加する医療機関等の間での健診・診療・投薬に関する情報の共有に、被保険者番号履歴を利用することが想定。

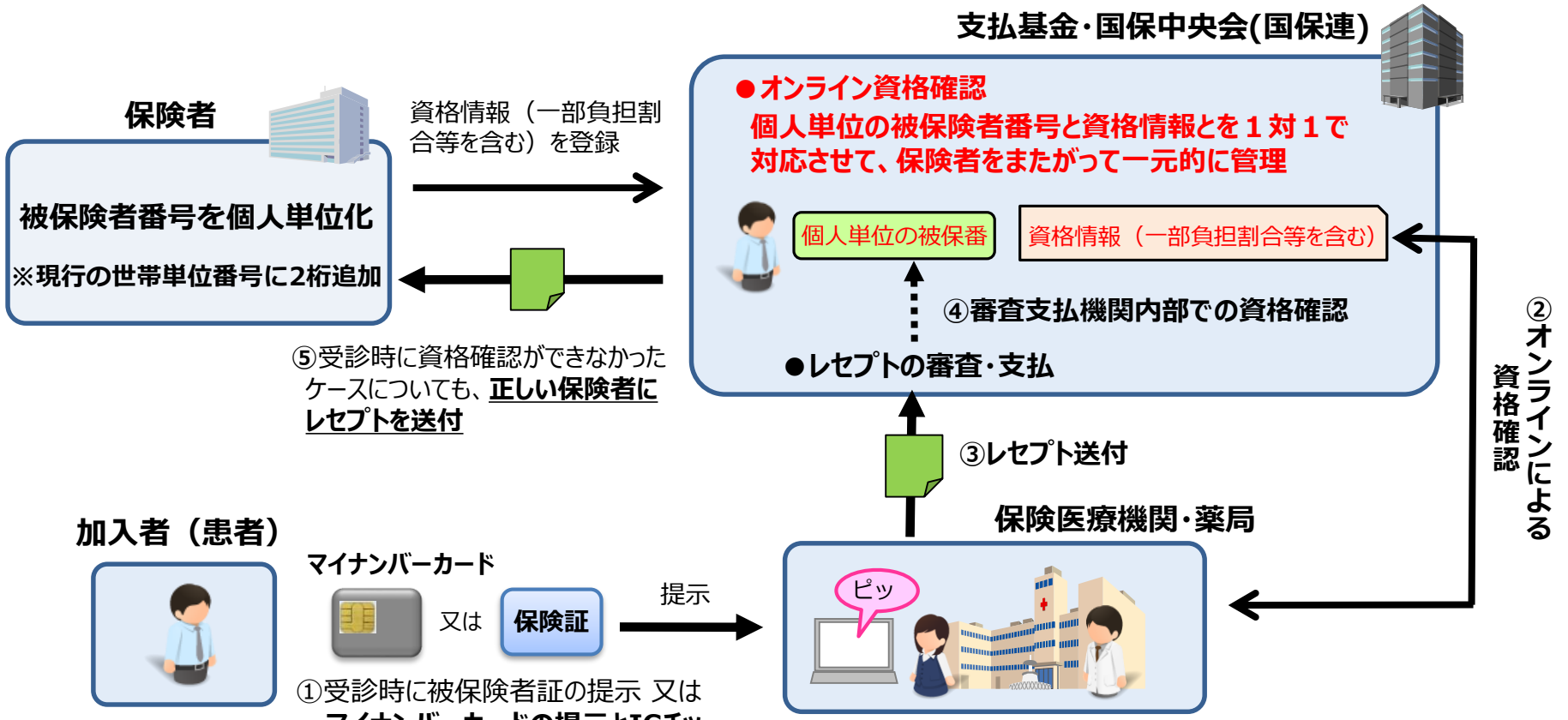
・ 被保険者番号履歴の管理・提供主体は、データベースの運営主体や医療情報連携ネットワークの運営主体等からの問い合わせに対して、被保険者番号履歴を提供するシステムを運営する。

・ 被保険者番号履歴の提供を受けられる者の範囲を、原則として、被保険者番号履歴の利用目的が法令等において明確にされていること、適切な組織的・物理的・技術的・人的安全管理措置が講じられていることなど一定の基準に該当する者に限定すべき。

オンライン資格確認システムによる被保番履歴の一元的管理

オンライン資格確認システムの導入により、支払基金・国保中央会において、保険者をまたがって、個人単位の被保険者番号を一元的に把握・確認することが可能になる（令和２年度（2020年度）末以降）

【被保険者番号の個人単位化とオンライン資格確認等のイメージ】



※マイナンバーカードの資格確認対応の医療機関・薬局では、保険者が変わっても、マイナンバーカードのみで受診等が可能（保険証を持参する必要がない）。

※オンライン資格確認を実施しない医療機関・薬局の場合、現在の事務手続き等が変わるということはない。

被保険者番号活用の仕組みの基本スキーム（イメージ図案）

個人情報保護等のための一定基準をクリアした活用主体が、自らが保有している被保険者番号のうち確認したい番号について「どの被保険者番号が同一人物の番号であるか」を照会し、管理・運営主体が「どの被保険者番号が同一人物の番号であるか」を回答する仕組み。

一定基準をクリアした活用主体（※）

※医療等データベースの保有主体のうち、個人情報保護等のための一定基準をクリアし、かつ、この仕組みを活用するニーズの高い主体が想定される。

保有している被保険者番号のうち、確認したい被保険者番号
（保険者番号－被保険者記号－被保険者番号）

XXXXXXXX－9211－131091501	XYXXXXXX－5085－018263301	XXYXXXXX－6819－484055802
XXXYXXXX－1952－573711901	XXXXYXXX－0647－095075903	XXXXXYXX－5787－658099402
XXXXXXYX－4880－668081401	XXXXXXXY－0709－321491504	YYXXXXXX－7077－309092702
YXYXXXXX－9373－017387503	YXXYXXXX－6341－307762802	YXXXYXXX－1533－032547405
YXXXXYXX－7413－490836803	YXXXXXYX－0255－581673501	YXXXXXXY－2130－669676801
YYYXXXXX－3499－179707502	XYYYXXXX－9321－132802602	XYXYXYXX－6110－663611504

どの被保険者番号が同一人物の番号であるかを照会

どの被保険者番号が同一人物の番号であるかを回答

保有している被保険者番号のうち、確認したい被保険者番号
（保険者番号－被保険者記号－被保険者番号）

XXXXXXXX－9211－131091501	XYXXXXXX－5085－018263301	XXYXXXXX－6819－484055802
XXXYXXXX－1952－573711901	XXXXYXXX－0647－095075903	XXXXXYXX－5787－658099402
XXXXXXYX－4880－668081401	XXXXXXXY－0709－321491504	YYXXXXXX－7077－309092702
YXYXXXXX－9373－017387503	YXXYXXXX－6341－307762802	YXXXYXXX－1533－032547405
YXXXXYXX－7413－490836803	YXXXXXYX－0255－581673501	YXXXXXXY－2130－669676801
YYYXXXXX－3499－179707502	XYYYXXXX－9321－132802602	XYXYXYXX－6110－663611504

同一人物

同一人物

※ 個人情報保護の観点から、活用主体が保有している被保険者番号についてのみ照会・回答を行う仕組みとする。

管理・運営主体

※オンライン資格確認システムを基盤